

一般質問

・地域包括ケアシステム構築について



阿南澄男

問

「地域包括ケアシステム」の早期構築と充実に向け、市として「介護予防・生活支援」対策を担当する専門部署を設け、実施体制を強化するべきではないか

答

高齢者の生活支援のための担い手の育成や協議体の設置は、本市においても始まったばかりです。早期に軌道に乗せ、地域にしっかりと定着させていくことは、大変重要な課題であると認識しています。ご提案の専門部署の設置については、ニーズの多様化も予想されることから、今後、事業の進捗状況を検証し、専任職員の配置や体制強化について検討していきます。

問

「地域包括ケアシステム」の早期構築という重要課題に取り組むための職員配置についての考えは

答

今後、各地区における第2層協議体の発足に向けて、社会福祉士などの専門知識を持つ職員を所管課に配置し、地域の活

動に対する支援の充実を図り、事業を円滑に推進するための体制を整えていきたいと考えます。



第2層協議体認定証

【生活支援コーディネーター】

地域の支え合いを推進するためのリーダーで、各協議体に配置されます。



介護予防教室

一般質問

・御前崎の活性化と振興策について



河原崎恵士

問

今年の帆船・クルーズ船の寄港計画は

答

秋口に帆船「日本丸」の寄港を計画しています。クルーズ船については、船会社を3月1日・2日に御前崎市・牧之原市に招き観光施設を紹介し宣伝に努めています。

問

新聞報道された港への土砂保管施設の設置経緯と使用目的は

答

静岡県と国土交通省が土砂の保管場所を御前崎港に設置する協定を結んだものです。30年度より、首都圏の公共工事で発生した土砂を海上輸送し、県西部の防潮堤工事現場へ陸上輸送します。

問

「御前崎市エネルギービジョン」に記載の、港に停泊する船舶やマリナーパーク御前崎への再生可能エネルギー導入などの具体的な取り組みについての説明を

答

燃料電池給電システムの事業化が可能か調査を実施します。具体的な調査内容は船舶の停泊状況や停止船舶のエネルギー使用量などの基礎調査、燃料電池による給電の可能性を検討します。

問

御前崎港を宣伝する方法は

答

例年、県中西部の顧客確保を目的に浜松市でセミナーを実施しています。首都圏や中京圏での開催は費用対効果を見極めながら検討します。



平成 29 年 7 月に寄港した帆船「海王丸」